

# 東海北陸

Branch Report Vol.56

TOUKAI-HOKURIKU

2012. February



郡上八幡城



社団法人 日本建築積算協会・東海北陸支部

THE BUILDING SURVEYORS INSTITUTE OF JAPAN from Toukai-hokuriku Branch  
<http://bsi-th.052e.com/>

支部長あいさつ 「自然と人間」	支部長 小野 徹郎	1
平成 24 年度支部通常総会及び懇親会開催のお知らせ		2
平成 24 年度建築八団体共催新年互礼会	副支部長 川辺 清次	3
「建築積算士」更新講習報告	資格制度委員会 委員長 劔谷 智彦	4・5
総務財務委員会だより	総務財務委員会 委員長 川辺 清次	6
会員委員会だより	会員委員会 委員長 佐野 洋治	6
資格制度委員会だより	資格制度委員会 委員長 劔谷 智彦	7
ホームページ委員会だより	ホームページ委員会 委員長 劔谷 将紀	7
データベース委員会だより	データベース委員会 委員長 植田 隆明	8
設計審査委員会だより	設計審査委員会 委員長 西田 彰	8
講習・教育委員会(教育部会)だより	講習・教育委員会 委員長 藤井 正王	9
講習・教育委員会(講習部会)だより	講習・教育委員会 委員長 藤井 正王	10
CPD 単位取得と建築コスト管理士資格更新	資格制度委員会 佐野 洋治	11
会員交流会を終えて	資格制度委員会 委員長 佐野 洋治	12
金沢で会員交流会を開催しました	北陸部会 宮西 繁	13
建築積算を学んで	愛知産業大学造形学部 建築学科 鈴木 将悟	14
	愛知産業大学造形学部 建築学科 宮本 成将	14
女性スタッフ紹介	(株)緑 名古屋事務所 大橋 泰美	15
	(株)竹中工務店 見積部 井上 真千子	15
高千穂 紀行 (1)	顧問 杉浦 譲治	16
「東海・関西積友会ゴルフ」	2011 年 9 月 17 日(土) 阿山カンツリー倶楽部	17
インターンシップを終えて	富山県立富山工業高等学校	18
忘 年 会	広報委員会	19
北陸部会だより	(有)高島建築積算事務所 高島 義昭	20
岐阜部会だより	生田一級建築設計室 生田 孝文	20
静岡部会だより(会員交流会)	(株)アイピーエス 吉開 慎也	21
2012 年 謹賀新年 積算事務所からの御挨拶		22~25
ナゴヤドームへ野球観戦にいこう	会員委員会 委員長 佐野 洋治	26
	TOMO データサービス株式会社	27
	株式会社 大成出版社	28
編集後記		29
	協栄産業株式会社	30



## 「自然と人間」

(社)日本建築積算協会  
東海北陸支部

支部長 小野 徹郎

(名古屋工業大学名誉教授、相山女学園大学教授)

新年明けましておめでとうございます。東日本大震災をはじめとして日本を取り巻く状況はあらゆる面で厳しく、建築業界も含めて経済界に明るい光を見いだせない中、会員の皆様にはそれぞれのお立場で頑張っておられることと思っております。今年も宜しく願いいたします。

東日本大震災の被害状況を考えるとき地震動による直接の被害、津波による被害、原子力発電による被害とでその様態は異なっている。しかし私はその根源は同じではないかと考える時がある。特に原子力発電による被害状況を考えるときその感が強い。人間は自分たちの生活領域を拡大し、人間の生活に便利であることを獲得する中で、多くの人間以外の領域を侵してきた。人間はこの地球の中で、宇宙の中で少し思い上がっているのではないだろうか。もっと謙虚にならなければならないと思う。我々は多くの技術を獲得して生活を便利にしてきたが、その技術は本当に確立されているのだろうか。万が一のとき、それに対応する術を十分に持った上で使っているのだろうか。技術だけではない自然に対する人間の向かい方もそうである。自然破壊に関して人間はこれまで多くの経験をしてきているが、そこから本当に謙虚に学んでいるのだろうか？はなはだ疑問である。

ル・グウィン著、清水真砂子訳「ゲド戦記」(岩波書店)をご存知だろうか。

この物語は、

ことばは沈黙に  
光は闇に  
生は死の中にこそあるものなれ  
飛翔せるタカの  
虚空にこそ輝ける如くに

という冒頭の詩から始まる、「ゲド」という魔法使いの物語です。

数年前宮崎プロによって、ひどいアニメ化が行われた為、この本の価値を著しく誤解させたのは誠に残念だが、本当は少年・少女文学を超えた世界的な傑作として知られている物語である。

ゲドはその学びの過程で小石をダイヤに変え、更にこの結果を永遠にする術について長(おさ)に問います。それに対して長は次のように答えるのです。『この石ころを本当の宝石にすることは出来んわけじゃない。だが、それを変えることは、いいかな、そなた、たとえこれが宇宙のひとかけらにしか過ぎなくとも宇宙そのものを変えることになるんじゃない。その行為の結果がどう出るか、よかれ悪しかれ、そのところがはっきりと見極められるようになるまでは、そなた、石ころひとつ、砂粒ひとつ変えてはならんぞ。宇宙には均衡、つまり、つりあいというものがある、ものの姿を変えたり、何かを呼び出したりといった魔法使いのしわざは、その宇宙の均衡を揺るがすことになるんじゃない。恐ろしいことじゃ。わしらはまず何事もよく知らねばならん。それが必要となる時まで待たねばならん。あかりをとることは、闇を生み出すことにもなるんでな』と。

魔法の重さを教えた場面であるが、このことばはそのまま人間の自然に対する向き合い方をあらためて教えてくれている。人間は多くのものを利用してきた。多くのものを破壊してきた。まさに自然にとっては悪魔の魔法使いであったかもしれない。その結果について想像はしながらも当面の利益の為にその行為を繰り返してきたのではないだろうか。この長の言葉はなんと奥深く、我々の行為の浅はかさを明確に指摘している。ゲドはこの教えを聴きながらも自分の自信過剰によって天地を引き裂き、影を呼び出してしまうのです。自分自身の無知と傲慢の影です。結果、ゲドは自分の行為を悔い、いっそ自分は死んでしまいたいと考えます。そんな中、長はこうも言うのです。『そなた子供の頃は魔法使いに、不可能はなことはないと思っていたらうな。だが事実は違う。力を持ち、知識が豊かに広がっていくほど、その人間のたどるべき道は狭くなり、やがては何一つ選べるものはなくなって、ただ、しなければならないことだけをするようになるものなのだ。』この言葉も私は重く受け止めています。ゲドの行為はまさに人間が原子力に安易に手を出した行為そのものではないでしょうか。人が学ぶことが出来たとしたら、学びから得た力を持って謙虚に、誠実に生きていかなければならないことを示しています。

此処に来て、我々は、以前ここで紹介したカミュの小説「ペスト」の中にある、危機に立ち向かう唯一の手段としての「誠実」と、ゲド戦記に語られているこれらの言葉をもう一度かみしめる必要があるのではないのでしょうか。

平成 24 年 1 月 吉日

(社) 日本建築積算協会

東海北陸支部正会員 各位

(社) 日本建築積算協会東海北陸支部

支部長 小野 徹郎

## 平成 24 年度支部通常総会及び懇親会開催のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当支部事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、まだお屠蘇気分が抜け切らない頃かと存じますが、出来るだけ多くの会員皆様方にご出席頂きたく早々にご案内申し上げる次第です。標記通常総会並びに懇親会は、下記の通り開催予定でございますのでよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

#### 《通常総会》

1. 日 時： 平成 24 年 4 月 20 日 (金) 16 時 30 分より
2. 場 所： ベストウエスタンホテル名古屋  
(旧ホテルプリシード名古屋 <http://www.hotel-precède.com/>)  
名古屋市中区栄四丁目 6 番 1 号 TEL (052) 263-3411

#### 3. 議 案

- 第 1 号議案 平成 23 年度 事業報告承認の件
- 第 2 号議案 平成 23 年度 収支決算及び監査報告承認の件
- 第 3 号議案 平成 24 年度 事業計画 (案) に関する件
- 第 4 号議案 平成 24 年度 収支予算 (案) に関する件
- 第 5 号議案 平成 24 年度役員補選に関する件
- 第 6 号議案 その他

#### 《懇親会》

1. 日 時：平成 24 年 4 月 20 日 (金) 18 時より
2. ところ：ベストウエスタンホテル名古屋 (旧ホテルプリシード名古屋)
3. 会 費：実費
4. 案内図



※地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12番出口 徒歩約4分

## 平成 24 年度建築八団体共催新年互礼会

副支部長 川辺 清次

新年明けましておめでとうございます。

不況の荒波の中で、震災復興や原発問題が起こりいまだ先の見通しもつかないままに年があげました。今年は「辰年」です。「竜の雲を得たるが如し」といいますが、何とか明るい兆しがみられるようにと願っております。竜の雲までとは言いませんが、せめて藁にも縋りたいのが私の本心でもあります。

今年の新年互例会は、「公益社団法人愛知建築士会」が主催団体となり、平成 24 年 1 月 6 日(金)の 18 時から 20 時まで、名古屋国際ホテル 2 階の国際ホールにて開催されました。

主催団体の古橋国男副会長の「開会の辞」で始まり、各団体長の紹介、主催団体代表として佐藤東亜男会長が挨拶をされました。長引く不況の中、何とか飛躍の年でありたいとのお話でした。

来賓として大村秀章県知事ご本人からのご挨拶をいただきました。河村たかし市長代理と岩村県議会議長のお言葉をいただき、県議会議員皆様の紹介、表彰者披露、祝電披露へと続き 設備設計監理協会の村上会長の乾杯により宴会へと移りました。

今年の余興は「あいち戦国姫隊」という戦国武将の奥様グループ(摩訶不思議なグループ)が登場しました。詳しくはネットで検索願います。スケジュールも出ておりますので追っかけをする方には便利かと思われれます。本来は、「市・まつ・吉乃・おね・江・於大」の 6 人のグループですが、今回はこの内から選りすぐりの「まつ・吉乃・おね」の 3 人に、高ビーなしゃべりと歌で場を盛り上げていただきました。自分の嫁にはしたくないタイプですが・・・一緒に写真が撮れると言う事なので先を争っての姫様の争奪戦となりました。私も何とか仲間に加わることができました。写真は、妻に見つからないよう密かに隠し持っています。こっそり電話番号を渡したので、かかってくることを楽しみに日々仕事に励んでいます。

美味しい食事と、会場のあちらこちらでは楽しい会話と名刺交換がおこなわれました。昨年とほぼ同じくらいの参加者でした。

会の締めくくりに、待ちに待った大抽選会がはじまりました。今年の積算協会のメンバーでは 2 名に、マナカのチャージ券が当たりました。最後に、来年主催団体の愛知県建築士事務所協会の会長・朝岡市郎氏による関東一本締めで閉会となりました。

司会は、昨年に続き小さくて可愛い私好みの志村和美さんでした。

### 八団体紹介

- (社) 愛知建築士会
- (社) 愛知県建築士事務所協会
- (社) 日本建築家協会東海支部愛知地域会
- (社) 日本建築学会東海支部
- (社) 日本建築協会東海支部
- (社) 日本建築構造技術者協会中部支社
- (社) 日本建築積算協会東海北陸支部
- (社) 愛知県設備設計監理協会



## 「建築積算士」更新講習報告

資格制度委員会

委員長 劔谷 智彦

今年度の「建築積算士」更新講習は、名古屋・静岡・金沢の3会場で開催致しました。



支部長挨拶

各会場とも、13時開場後、支部長挨拶に続き

- 総論 第1章 建築積算士について
  - 第2章 建築積算とは
  - 第3章 建設産業について
  - 第1編 建築積算士としての基礎的知識
    - 第1章 LCC (ライフサイクルコスト)
    - 第2章 VE (バリューエンジニアリング)
    - 第3章 環境配慮とコスト
  - 第2編 コスト管理に関する応用知識
    - 第1章 仮設と経費
    - 第2章 工程計画とコスト
    - 第3章 解体工事
    - 第4章 改修工事とコスト管理
    - 第5章 設備改修工事とコスト管理
    - 第6章 集合住宅の維持保全とコスト管理
    - 第7章 法規とコスト
    - 第8章 コスト管理業務に関わる法的責任
- 以上の内容で4時間弱の講義を受講し出席者全員が「建築積算士」資格更新をしました。

最初に名古屋会場が、平成23年11月5日(土)に愛知県産業労働センターにおいて、254名の受講者を前に、東海北陸支部支部長小野徹郎の挨拶

に始まり、総論・藤井正王講師 第1編・伊藤健蔵講師 第2編・山田治講師の講義を受講者皆様が真剣に聞き入っていた印象を持ちました。



山田講師



名古屋会場

静岡会場は、平成23年11月12日(土)に静岡商工会議所会館において、69名の受講者で始まりました。

名古屋会場同様、総論・藤井正王講師 第1編・藤曲充信講師 第2編・山田治講師の講義で予定通り終了しました。

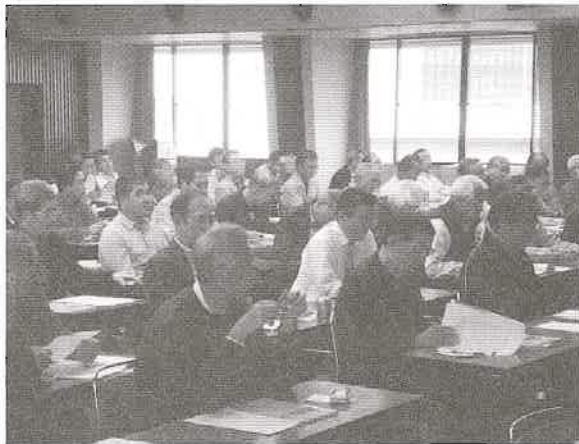
今回の更新講習は、受講者全員に「理解度テスト」を講習後に執り行う予定でしたが、机のない会場もあり、講習中にテストをしましたが、静岡会場の受講者で一部の方は講習後にテストに取り組んでいる様子が印象に残りました。



藤曲講師



塚田講師



静岡会場



金沢会場

最後の金沢会場は、平成 23 年 11 月 26 日（土）に金沢勤労者プラザにおいて、76 名の受講者で始まりました。

金沢でも、総論・藤井正王講師 第 1 編・伊藤健蔵講師 第 2 編・塚田律夫講師の講師陣でした。当日、委員長として金沢に行くことが出来ず感想は書けないのですが、北陸部会の委員の皆様大変お世話になりました。



藤井講師

今年度の更新講習は、三会場合わせて 399 名の受講者と、e ラーニングでの受講者 155 名の合計 554 名が更新しました。

更新対象者に対し、受講率は 68% と他支部に比べ少し低い結果となっています。

来年度は受講者数が少ないため、会場数が減り名古屋のみでの開催になるかも知れませんが、来年度更新で遠方の方には e ラーニングでの受講をお勧め致します。

以上のように、今年度の更新講習は無事に終わることが出来ました。受講日が土曜日という日程のなか、休日返上でお手伝い頂きました役員の皆様に誌面を借りてお礼申し上げます。

## 今年もよろしくお願ひ致します

総務財務委員会

委員長 川辺 清次

あけましておめでとうございます。

総務財務委員会としては「公益社団法人化はどうなっているんだ」ということであるが、残念乍ら12月にあった本部の総務財務委員会に出席出来なかったのが詳しくは分かりませんが、理事である支部長にお聞きしますと、事前相談の段階で指摘された定款変更等手続の遅れで当初予定の3月末に認可されるのが7月頃になるとの様です。

私が何故出席出来なかったか？ 昨年の7月26日第1回総務委員会開催され予定によると12月に第2回開催とある。翌8月にメールにて開催日と出欠の返事の案内が届いていた様だ。これも後に知った事ではあるがそれ以後、私の不行き届きの点があったかも知れないが、何の連絡もなかった。私としては出欠の連絡もしていないので、事務局としては返事がなければ、催促の連絡があってもいいのではと思う。他の役員が東京で委員会があった時「この間の総務財務委員会、川辺さん欠席でめずらしいですネ」と言ったとか。誠に腹立たしい年末であった。

今年になって1月6日付でメールが届いた。昨秋のペリカン大作戦訪問企業、団体のデータベース化だ。これも小生としては、12月上旬迄にやっと11件の訪問を終え12月中には報告書を出せとの事で年末の忙しい最中に、やっとの思いで送付した年明け草々。訪問先をデータベース化したいので再度1月20日迄に提出せよとある。最初からデータベース化するのであれば何故、フォーマットを統一しなかったのか本部の見識が問われる。思いつきでやられたら支部の人間はたまったものではない。又、我が東海北陸支部に較べると、本部関東支部は極端に少ないらしい。本社が東京に集中しているので、いくら支店、支社にお願いしても本社が聞いていないのでは話にならない。

以上、これが年始めの腹立たしい一件であった。何はともあれ、平穩で、穏やかな一年である事を願います。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

## 会員委員会だより

会員委員会

委員長 佐野 洋治

日頃は何かと協会活動にご協力ありがとうございます。今年度ガイドブックの発刊に伴い、ペリカン大作戦と名づけた、各企業訪問を実施しました。

企業訪問に際して温かく受け入れて戴いた各企業の皆様ありがとうございます。また参加協力して頂いた役員の方々ご苦労さまでした。

これまで当協会は個人会員が中心ということもあり、企業への直接的な働きかけは消極的でありました。最近、個人を取り巻く環境が厳しく、個人が自主的に活動するには時間・費用ともに限界があるため企業理解を求める働きかけが必要となりました。

一方今回の企業訪問は、最近の課題やニーズ、又は人材育成の実態を知ることであり、同時に、当協会の社員教育・能力開発を支援する事業をPRし、参加を呼び掛ける事であります。

特に、建築コスト管理士・建築積算士・建築積算士補について知名度向上とさらなる活用の理解を深めることあります。

東海北陸の読者で、自分の会社・事務所等にPRに来て欲しいとおもわれる方は支部まで連絡下さい。下記のグッズを持参して伺います。

持参グッズ

- ①協会パンフレット
- ②建築積算士ガイドブック
- ③建築コスト管理士ガイドブック
- ④企業別有資格者数リスト
- ⑤日本積算協会について
- ⑥資格制度について
- ⑦資格活用のお願ひ文書
- ⑧学校別教育支援実績表
- ⑨ガイドブック案内書および購入申込書
- ⑩支部開催の講習会案内書及び申込書
- ⑪eラーニング受講案内
- ⑫入会申込書

以上よろしくお願ひします。



## 資格制度委員会だより

資格制度委員会

委員長 劔谷 智彦

資格制度委員会活動の中で、建築積算士更新講習とCPD制度に関しては、別記事の積算士更新講習報告とCPD登録案内を見ていただくとして、ここでは「建築コスト管理士」試験及び「建築積算士」試験の報告をします。

「建築コスト管理士」試験は、平成23年10月23日（日）に5名の方が挑戦しました。

出題範囲は、「建築コスト管理士ガイドブック」全章、「建築積算士ガイドブック」第6章～8章、及び第10章を対象とし、2時間30分の学科試験（問題数60問・4肢択一）、2時間の短文記述試験（問題数5問・200字以内で記述）と合計4時間30分の試験を終えました。

残念な結果でしたが、合格者は一名でした。

次に、「建築積算士」一次試験は、建築コスト管理士試験と同日に9名の方が挑戦しました。

出題範囲は、「建築積算士ガイドブック」全章、「建築数量積算基準」「建築工事内訳書標準書式」を対象とし、3時間の学科試験（問題数50問・4肢択一）を終え、合格者5名の方が二次試験に挑戦する事となりました。

「建築積算士」二次試験は、平成24年1月22日（日）に実施される予定です。

二次試験は、一次試験合格者及び一次試験免除対象者60名弱の方が挑戦します。

出題範囲は、「建築積算士ガイドブック」第1章～4章、第9章～15章を対象とし、1時間の短文記述試験（問題数2問・200字以内で記述）と、4時間30分の実技試験（図面に基づき、数量算出し内訳明細の作成）が実施されます。

「建築積算士」試験は、今年度より出題形式が変わり出題傾向が分からず多くの受験者が苦労されたと思います。来年度は今年度の試験を参考に、多くの方が「建築コスト管理士」及び「建築積算士」に挑戦して頂くようお願い致します。

## ホームページ委員会だより

ホームページ委員会

委員長 劔谷 将紀

東海北陸支部のホームページを開設して10年以上の年月が経ち、各委員会の協力により内容の方も充実してきたかと思えます。ですがアクセス数がなかなか伸びず、いつも見ていただいている方以外のアクセスが無いのが現在の悩みどころです。

5年前に現在のホームページにリニューアルし、デザインの統一や見やすさなどを改善してきましたが、やはり小手先だけでは思うような成果もあげられませんでした。

ホームページは多くの方に見ていただいてこそ意味があり、その為にホームページ委員会としてなにが出来るかを討議しています。

会員の方はもちろん、一般の方にも日本積算協会東海北陸支部の事をわかりやすく伝えていきたいといった想いは今までと同様ですが、どのような形でそれを表現できるか、そして積算における疑問・質問が少しでも解決できる場になれば良いのではと考えております。

そのような目的で、現在リニューアルに向けて少しずつですが動いております。「こうして欲しい!」といったご要望がありましたら、出来るかどうかは別として遠慮なくご意見を頂けたらと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

また会員専用のページでは、各役員、委員が日本積算協会を支える為の活動報告や、会員限定行事等の情報もありますので、是非ともご一読お願い致します。

ホームページ会員サービス  
会員用ID番号とパスワード  
ID番号 member  
パスワード 4326

## データベース委員会だより

データベース委員会

委員長 植田 隆明

新年あけましておめでとうございます。今年  
は辰歳です。恒例の干支にまつわる言葉を探し  
てみました。みなさんの人生における格言はあ  
りますでしょうか。

- ・画竜点睛
- ・竜頭蛇尾
- ・登竜門
- ・臥竜鳳雛
- ・群龍無首
- ・時いたれば蚯蚓（みみず）も竜となる
- ・竜馬のつまずき
- ・竜虎相搏つ
- ・竜のあぎとの珠を取る
- ・竜は一寸にして昇天の気あり
- ・雲は竜に従がい虎は風に従がう
- ・竜の雲を得る如し

データベース委員会の活動状況をご報告いた  
します。

1. ここが知りたい積算勉強会の質疑回答資料  
のデータ（平成22年度版）はホームページ  
に掲載中です。（大変参考になります。一度ご  
覧になってください。）
2. 病院建築の将来解体時建設副産物のデータ  
化はサンプル数44件のご提供をいただき現  
在分析中です。近々に発表予定です。
3. 積算結果表のフォーマット『コストデータ表』  
はホームページに掲載中です。自由にご利用  
ください。

データベース委員会では会員の皆様のご要望  
をいただき、使えるデータベース構築を進めて  
ゆきたいと思っています。忌憚のないご意見ご  
要望をお願いいたします。

## 設計審査委員会だより

設計審査委員会

委員長 西田 彰

今期は、岐阜県からの審査が1件、岐阜県とは  
関係なく一般からの依頼が1件、計2件が動きま  
した。後者の1件は、以前に岐阜県指導の設計審  
査を受けられた方からで、設計審査をすることに  
より、現場でのトラブルもなく進んだということ  
で、今回も設計審査を受けられました。

このところエクセル上（関数）のミスが多く見  
受けられます。縦計算に漏れがあったり、小計  
から大頭（科目別計）への移行ミスがあったり、  
特に多いのが内訳数量の表示の間違いです。見  
え掛かりは小数以下1桁になっていますが、セ  
ル内の実態はFullで入力されており、数量×単  
価＝金額が合いません。また、なぜか金額欄が、  
ページの上から下まで同じ金額で表示されてい  
たりする設計書もありました。少し注意をすれ  
ば防ぐことのできるミスばかりです。というこ  
とは、積算内容は、推して知るべし。このよう  
な設計書がまかり通っている今日この頃です。

少なくとも数量は不変であり、何が正しくて何  
が間違っているのかは明確です。単価についても、  
常識的な範囲があります。低価格での工事受注が  
続いています。やはり建築の出来は「安かろう  
悪かろう」の域を脱することはできません。施主  
の方がよく言われます。「あそこの建物は坪〇〇  
円でできた。ウチのも何とかならないだろうか。」  
自分に都合の良い情報だけで持論を通されます。  
多数の常識的なデータは排除されています。

設計審査委員会では、設計書の数量を確認する  
と共に、金額内容がどのような物であるのかを検  
討いたします。今後、速いスピードでの価格の変  
動が予想されます。いつまでもこの安値競争の状  
態が続くとは思われません。正しい数量と適正な  
価格の設定が必要と思います。設計審査委員会は  
皆様の設計書作りをお手伝いいたします

## 講習・教育委員会（教育部会）だより

講習・教育委員会

委員長 藤井 正王

平成 21 年度からスタートした積算協会作成のテキストによる建築積算授業が 3 年になりました。

平成 23 年度は全国で 35 校が認定校として登録して頂き、受講学生数も 1200 名を超え、建築積算士補も累積 600 名を超えました。平成 24 年度も新たな認定校も有り、除々ではあります着実に普及しています。

### ●名古屋市立工芸高等学校

認定校として 3 年目になり、建築積算の授業を担当の先生が選択科目の中で教えています。3 年生に 50 分授業を 27 回程度で担当の先生が教えています。協会としては年数回講師派遣を行っています。また珍しい制度ですが、毎週私の事務所に名古屋市の教員として建築積算の実務の勉強に来ています。

### ●静岡県立浜松工業高等学校

認定校として 3 年目になり、当協会から講師派遣を行い、3 年生に 50 分授業を 3 回通して 5 日間行いました。短期集中の授業ですが、真面目な生徒が多く充実した授業となっています。いずれは担任の先生による建築積算の授業を行って頂きたいと考えています。

### ●東海工業専門学校金山校

認定校として 3 年目になり、初年度こそ当協会から派遣講師を行いました。積算経験者の先生が以前から教えていたことも有り、昨年度から担当の先生が協会のテキストを使って 50 分授業を 15 回程度行っています。

### ●愛知産業大学

認定校として 3 年目になり、3 年生の後期に 90 分授業を 12 回程度、協会からの派遣講師で授業を行いました。以前は建築積算を教える先生はいなかったのですが、今年度当初から毎回先生 4、

5 名が建築積算の授業を聞いて頂き、平成 24 年度からは担当の先生による授業が始まる予定です。

### ●愛知県立碧南工業高校

平成 22 年度から建築積算の授業がスタートしました。担当の先生は積算経験が有り、2 年生に 50 分授業を 20 回程度行っています。

### ●岐阜県立国際たくみアカデミー

平成 22 年度から建築積算の授業がスタートしました。担当の先生は積算経験が有り、100 分授業を 18 回程度行っています。

### ●名古屋造形大学

平成 23 年度から建築積算の授業がスタートしました。担当の先生は積算経験が有り、3 年生に 80 分授業を 8 回程度行っています。

### ●ポリテクセンター中部

平成 24 年度から建築積算の授業がスタートする予定です。具体的にはまだ決まっていますが、この学校は社会人教育の施設で愛知県建築事務所協会とタイアップしており、アンケートの結果一番受けたい授業が建築積算となり、協会への派遣講師の依頼が有りました。

### ●椋山女子学園大学

当協会の支部長が在籍している学校でも有り、平成 24 年度から建築積算の授業がスタートする予定です。担当の先生による授業で 4 年生に 90 分授業を 15 回程度実施する予定です。

平成 24 年度は 9 校で実施される予定です。他に東海工業専門学校熱田校や名古屋工業高等学校の両校を訪問し建築積算授業の説明をしてまいりました。新規実施される学校も有りますが、協会からの派遣講師をせず、学校側の担当の先生による授業が増えた事は有り難いと思っています。

## 講習・教育委員会（講習部会）だより

講習・教育委員会

委員長 藤井 正王

昨年は多くの講習会を企画し開催してまいりました。例年行われていました講習会の他に、建築積算士ガイドブックや建築コスト管理士ガイドブックの講習会、建築積算教室を開催しました。それらの問題点等検証し、来年度からの講習会の方向性を考えて行きたいと思えます。

### <初級シリーズ>

このシリーズの目的は、ややもすれば以前の講習会ではいきなり拾い方の話から始まっており、その基本である「積算とはなんぞや」や「建築数量積算基準の目的」など分かっていないと、思わぬ間違いに遭遇する場合も有り、何事も基本が大切な為に行われる講習会です。これには初級と中級がありますが、特に中級を受講される方で経験の差が有り、もっと拾いのレベルの細分化が必要ではないかと思いました。

### <仮設計画シュミレーション>

積算経験豊富な建設会社の講師によって、わかりやすくより実践的な講習会となっており、実務に役に立つ講習会だと思います。基本的には継続して行いたい講習会です。

### <企画・基本設計段階の概算>

積算経験豊富なそして、建設会社と設計事務所両方で概算を数多く手がけられた講師によって、各々の立場での概算を分かりやすく、そして実践的に説明して頂ける講習会ですし、これからのコストマネジメントには欠かせない講習会です。基本的には継続して行いたい講習会です。

### <ガイドブック講習会>

今年度から建築積算士及び建築コスト管理士の試験方法と出題範囲が大きく変わりました。基本的には各ガイドブックの中から出題されることになりました。一次試験はもとより、二次試験もこのガイドブックから出題され、受験される方にとっ

ては必修の講習会になります。またこのガイドブックは建築積算の全体をまとめた物であり、建築積算士補（学校用テキスト）その上位資格である、建築積算士と建築コスト管理士の為の非常に重要なテキストとなっております。また構成内容は内容の多寡はあれどほぼ統一されています。このガイドブックはいわば建築積算のバイブルとなるテキストです。この認識は当協会のPR不足で皆様にご理解頂いていない所も多々ありますが、これからの講習会はこのガイドブックを中心に構成されていくと思われます。

### <積算教室>

昨年まで、本来の数量拾いの実技講習会が無かった事から、RC造2階建ての図面から仮設・躯体・仕上・集計・内訳書・値入まで実際に全てを計算する講習会です。9月から始め毎月1回×7回の講習会を行い、積算全体を把握するため最終である工事費算出まで行う講習会です。この内容を実務の講習会として行って行きたいと思えます

### <ここが知りたい勉強会>

平成20年から始まったこの勉強会も65回開催できました。勉強会の内容も一回りした感があり、違う形の勉強会を検討する時期に来ていると思えます。

### <改修テキスト>

以前発行されておりました。「建築改修工事の積算」のテキストが見直しがされ、本年春には発刊となります。その講習会を開催する予定です。

### <総括>

平成24年度から講習会の内容を再考し、建築積算士ガイドブックを中心にした講習会及び建築コスト管理士ガイドブックの講習会を開催し、より皆様が聞きたくなる様な講習会を開催する為、早速1月の講習委員会で検討を始めたいと思えます。

# CPD単位取得と建築コスト管理士資格更新

資格制度委員会

佐野 洋治

建築コスト管理士の皆様、各年度でのCPDの確実な取得に向けて、案内させて頂きます。

平成19年(2007)度に、建築コスト管理士資格を取得された方は、平成24年3月で、資格更新のためのCPD必要単位取得締め切りがまいります。

## ●各年度のCPD単位取得。

- A. 当協会のCPD制度は、5年間で250単位の取得が必要です。  
各年度50単位を確実に修得しましょう。
- B. 研修期間は、年度ごとの登録となりますから、4月1日から次年の3月31日までです。

## ●年度ごとの、登録内容

- A. 実務実績の登録 . . . . . 20単位  
年度末に、1回の登録をする。
- B. 自己申請
- I. 自己学習型
- ①. 協会会誌「建築と積算」の購読  
全員資格あり . . . . . 12単位  
年度末に、1回の登録をする。
  - ②. 協会会誌「建築と積算」の認定記事  
1件当たり1単位 . . . . . 12単位  
認定項目ごとに、登録をする。  
但し、平成21年度より
  - ③. 専門図書の購読  
1冊あたり2単位(2時間/冊)・20単位  
1冊ごとに、1回の登録をする。
  - ④. その他団体等の会誌・機関紙の購読  
年間上限12時間 . . . . . 6単位  
1つの団体・機関ごとに、年度末に、登録をする。

## II. 参加学習型

- ⑤から⑦の登録は、参加1回ごとに登録する。
- ⑤講演会・シンポジウムへの参加  
実質1時間1単位 . . . . . 上限なし
- ⑥外部プログラムによる講習・研修の受講  
実質1時間1単位 . . . . . 上限なし
- ⑦現場見学会の参加(他団体とも)  
実質1時間1単位 . . . . . 上限なし

## ●資格取得後の期間による緩和処置

- ①. 積算士取得後20年を超える者、
- ②. 1級建築士取得後25年を超える者、  
上記で、建築関連業務の実務経験を有する者。  
5年間で250単位の、50単位緩和されます。

## ●平成24年に更新の方

- A. 単位は、5年間で250単位の取得が必要です。  
緩和処置を申請された方は、200単位です。  
自分の取得単位を確認する場合は、実施時期の指定を、  
自2007年4月1日 至2012年3月31日  
として確認して下さい。

## ●CPD制度未参加の方

積算協会会員証か、建築コスト管理士資格証を手元に用意し、当協会ホームページから参加登録をして下さい。

単位が足りない方、参考で記入した以外の項目を投入したい方、どうすればいいか迷っている方、パソコンが苦手な方、ホームページからの登録・申請がうまくいかない方は、早めに支部宛てに、気楽に電話・FAX等で相談下さい。  
支部にてアドバイス・代行入力もあります。

**今すぐ、登録と単位申請を!**

## 会員交流会を終えて

資格制度委員会

委員長 佐野 洋治

本年度の会員交流会も、名古屋・静岡・金沢の3会場で更新講習会の終了後にそれぞれの会場の近くで開催しました。

来場者は、役員以外の一般会員33名・建築積算士14名・建築積算士補2名・賛助会員1名の参加があり、年々一般会員の参加が増え、協会活動への意見交換会として進行できました。

東海北陸支部の活動として、勉強会・講習会テーマ案内を始め、建築積算士から建築コスト管理士への上位資格への挑戦・支部ホームページの内容紹介、特に当支部の特徴であるデータベースの内容説明をし、もう一方の設計審査機能の説明をし、同時に入会の勧誘を行いました。

参加者より、東海北陸支部への要望・期待、地域密着活動向上への提案、こんな事を教えて欲しい、いいにくかった事を言いますとの交流があり、さらに協会活動広報の見える化を図ることによる、一般社会へのアプローチ・会員サービスの向上・一層の活動内容充実を図る事を実感した交流会でした。

来年度も同様な会員交流会を開催する予定です。今年度に加えて、より多い建築積算士・建築積算士補の皆さんの参加を期待しています。

但し、今後集合しての更新講習の実施方法は検討され、更新講習会がeラーニング化することにより、このタイミングでの会員交流会の開催がむつかしい方向となっていきます。

そこで形を変えた参加しやすい会員交流会の開催形式・内容・勧誘方法も含め検討する時期になりました。

協会活動を1人でも多くの人に理解してもらえる事は、資格者の活用にもつながり、協会の発展となります。

今後とも協会行事への参加をお願いします。

### 名古屋会場

開催日時 平成23年11月5日(土)

17時15分から19時まで

開催場所 愛知県産業労働センターB1F

つくね屋本舗

参加者 45名(会員32名建築積算士11名  
建築積算士補2名)

名古屋会場では、協会会員への情報伝達・協会活用を気軽にできる窓口の要望がありました。

また部会活動を通じての、地域会員増強への検討に花が咲き、会員勧誘活動に期待できる懇談がありました。



交流会



集合写真

## 金沢で会員交流会を開催しました

北陸部会 宮西 繁

### ◆平成 23 年度会員交流会報告（北陸部会）

11月26日（土）アパホテル金沢駅前店の2階和食割烹彩旬にて会員交流会を開催しました。当日は平成23年度の建築積算士の更新講習会の講習後であったので、当日受講した出席者の中からの参加がありました。受講対象者も76名で顔見知りの人たちが多かったことも一つの要因だろうと考えます。

参加者は正会員21名、積算士2名の計23名でしたので、その意義することは大きな収穫でした。そして懇親会場の声の下記にまとめてみました。

◆参加者の人たちからは近況や今回のテキストの講義内容についての意見が飛び交いました。  
※北陸地域特有の勤勉な面が出ています。

◆講義テキストの一部分だけでも他団体さんへ広めることのできる可能性はありますか。  
※これは講師の人たちを賞賛していると考えて今回の講習の成功がたいへん嬉しいです。

◆部会活動である遠隔地域への出前講習については活動重点区域の役員委員さんを推薦の意見もありました。（社）日本建築積算協会の目的であった自己研鑽を伝言していきたい。

会員交流会出席者の大半が積算士資格者としては年配者であることから部会発足時からの活動の変革等を懐かしく懇談できました。

以上が金沢会場の会員交流会の報告になります。

★平成24年度の北陸部会の新年会があります。北陸部会の新年会はアパホテル金沢駅前店の2階和食割烹彩旬にて同じ会場で2月4日（土曜）に開催いたします。

★はがきとメール等でも正会員さん宛に連絡をいたしますので新しく参入される積算者の皆さんの出欠の連絡を待っています。

★連絡先 TEL:076-425-7330、FAX:076-425-7363  
北陸部会事務局 宮西 繁 まで  
所属 明峰積算事務所



交流会



集合写真

## 建築積算を学んで



愛知産業大学造形学部  
建築学科  
鈴木 将悟

私が積算士補の資格がある事を知ったのは大学3年生の時でした。高校時代も建築を学びましたが、それまでは積算という意味を漠然としか知りませんでした。ですが、積算の勉強をしていくうちに積算の重要性がわかりました。建築業界では、建物を造るときにどうしても材料代などにコストが掛かります。この時、積算の知識を使ってコストを見直し改善できれば、良いパフォーマンスができ、建築業界はもっと活躍できると私は考えています。

話は変わりますが、去年の11月に積算士の交流会に積算士補として参加したことを、お話したいと思います。交流会に参加したきっかけは通知が来たこともそうですが、単純にどのような人たちが積算の勉強をされているのか好奇心が湧いたので参加することに決めました。最初会場に訪れたとき、若い人たちがいなくて場違いな所に来たと意気消沈していたのですが、建築業界を引っ張っている方たちが気さくに声を掛けて下さって、色々な話を聞くことができました。社会に出る前に諸先輩方からエールもいただき、同級生より良い社会勉強ができたと思います。

最後に、積算のことをまだまだ知らない学生が大勢いると思います。建物を設計するときも、施工をするときも積算は大事なことなので積算士の資格を取得しようと考えている学生は、積極的にチャレンジしてもらいたいと思います。



愛知産業大学造形学部  
建築学科  
宮本 成将

私が積算を学び始めたのは大学3年生の秋です。最初は積算という言葉すら知りませんでした。ただ単位を取れば良いというくらいにしか考えていませんでした。

講義が始まり学んでいくうちに、建築物は積算無しでは成り立たないということがわかりました。公共工事の入札金額や維持管理をしていくランニングコストなど、知らないだけで身近にあるものばかりでした。この時、積算の大切さが理解できました。全ては積算から始まると言っても過言では無いかもしれません。

これを機に積算に興味を持つようになりました。一言に積算と言っても幅広く決まりごとも多くて苦労をしました。ですが、実社会でも活かせるものだと感じていたので、講義を苦に思うことはありませんでした。講師として積算協会から来ていただいた皆さんが積算に長けている方々ばかりでしたので、講義内容も分かりやすく感謝しています。おかげで積算士補の資格を無事に取得することができました。

この資格は、建築業界に就職を考えている就活生には有利な資格です。まだあまり知られていないようで、面接でどのような資格なのかと問われることがありました。建設業界の方々でもこのような事を聞いてくるくらいなので、少しでも積算のことを理解出来ていれば企業でも重宝されるのではないかと考えています。

積算士補の資格を持っていると積算士の方々との交流の機会があります。実社会で積算を行なっている方々なので、教科書に載っていない現場の生の話が聞けます。ですから、積算に興味がある学生は、どんどん積算士補の資格を取得して欲しいと思います。





## 女性スタッフ紹介



## 『日々勉強？ やればやるほど興味湧く積算』



(株)縁 名古屋事務所  
大橋 泰美

私が縁に入社して、もうすぐ2年が経ちます。積算について、全くの無知識で入社した私にとって、図面を見ても、工法や納まり以前に用語や略号が何を意味するのか分からないところからのスタートでした。

部材や工法を正確に理解せずに拾ってしまい、先輩から注意されたり、図面の記載を見落としをしたりと失敗を繰り返し、私には無理だと思いつつも続けてこれたのは、根気よく指導していただいた先輩方のおかげです。時間がなくても、なぜこの部材が必要なのか、どうしてこの計上をするのかなど、時には資料まで捜して持ってきて根本から理解させようとしてくれる先輩方にはとても感謝しています。周りの方の優しさにすっかり甘えてしまっていますが、分からないままにしない、意味を理解して拾うという姿勢は身につけてきたと思います。

私は大学時代から建築が好きで、よく友人と有名建築家が建てた建物を見に行きました。(今思えば、かなりミーハーですが…)その当時は、ただ「格好いい」「デザインが好き」としか見ていなかった建物も、この仕事を通じて、意匠ではなく納まりや部材に自然と目がいくようになりました。「あの図面にあった部材がこれのことなんだ!」といった発見ができるのは嬉しいです。

積算の仕事をされる方が口を揃えて、日々勉強とおっしゃいますが、本当にその通りだと痛感します。建物の数だけ違った図面があるので、日々新しい知識を身につけなければいけません。辛いかと問われたら「辛いです!」と即答してしまっていますが、知識と経験をコツコツと積み重ねて次へつなげていける充実感もあります。今後も地道な努力を重ね、成長していけたらと思います。

## 『やらないよりは やった方がおもしろい』

(株)竹中工務店 見積部  
井上 真千子

高専を卒業し、見積部に配属されて早幾年。最初は仕上積算業務で積算書とにらめっこの日々でしたが、ここ数年は積算ではなく、協力会社への見積依頼や値入等の後工程を行う業務へと変遷していません。

「もう積算知識はいらない?」と聞かれればそれは「否!」本当に役に立っています。特に積算業務時代に養った「感覚」は今の自分の基礎になっていると感じます。

その「感覚」、例えば積算事務所の方に拾って頂いた数量書を見て「ここ何かおかしい!」「あの項目がない?」と感じる力です。

これは時間勝負、体力勝負で2Dの図面から3Dをイメージしつつ積算し、落しがないよう拾っては色付けしながら図面を読み込んだ日々で体に染み込んだものです。

まだまだ未熟者ですが、この「感覚」を基礎にこれからも見積と付き合っていきます。

ちなみに、私は「やらないよりはやった方がおもしろい!」のスタンスでいたところ、時々、普通ではなかなかできない経験ができるように。



例えばこの写真!普通じゃないですね?友人の美容師さんにメイクの練習台を頼まれた時のものです。まともに化粧をしない普段の私とは全くの別人になれるのです(笑)

仕事も休日にも色んなおもしろい経験をしながら、感じながら、日々を楽しく過ごしていきたいと思っています。

周囲の皆さま、今後ともマイペースな私をどうぞよろしくお願い致します!!



## 高千穂 紀行（１）

顧問 杉浦 譲治

昨年の11月、かねて訪ねてみたいと思っていた天孫降臨の地九州の高千穂町を訪れた。天孫降臨の地は、一般には南九州高千穂連峰とも宮崎の高千穂町とも伝えられているが確定されているわけではない。

当日、愛知空港より福岡から柳川経由高千穂入りをした。今まで旅といえば少なくとも現地ではレンタカーを借りてのドライブ旅行が常であったが、一昨年末の交通事故以来、家内が私の運転する車への同乗を嫌がるので今回も一般の交通機関を利用する旅となった。

マイカー旅行が一般化している現在、特に過疎地における公共交通機関はダイヤの削減、赤字路線の廃止など地域住民の足を奪っている。都市間バスも同様で、高千穂への路線は2社共同運航で1日たった2往復熊本・延岡間が運行されているに過ぎない。

1997年の京都議定書で二酸化炭素の排出量などの削減を決めているにも関わらず、その後の政権は高速道路の1000円均一の実施や高速道路無料化を選挙公約にするなど、環境対策に逆行する政策が行われ様としている事に我々はもっと反省しなければならないのではないか？

午後3時半ごろに熊本を出発したバスの旅は夕方に向かうため、半分近くは真っ暗闇の中を走る。藤村は「木曾路は山の中」と言ったが、ここもまた山の中である。6時半近く3時間の旅はようやく高千穂バスセンターに到着する。

かつての高千穂鉄道は廃線となり今は無く、都市間交通としてはこのバスのみが唯一の連絡手段として熊本・延岡へとつながっている。薄暗がりの中に小さな待合所兼観光案内所とそれ

に続くタクシーベイがあるのみのバスセンターである。

今回旅行の目的の一つは「夜神楽」の見学であり、それは夜8時から始まるので気忙しい。ウロウロしていると、旅館の番頭さんが迎えに来てくれたのでやっとほっとする。用意されていた夕食を早々と済ませ、旅館の車で高千穂社の神楽殿まで送ってもらう。

神楽には宮中で行われる「御神楽」と民間で行う「里神楽」とがあるそうです。そして全国の「里神楽」の起源は「天岩戸神話」であると言われています。

「天岩戸神話」をご存知でしょうか？ 太陽の神様アマテラスが弟スサノオノミコトの乱暴ぶりに耐えかねて岩屋の奥に隠れてしまった。太陽の神が隠れてしまったので世の中は真っ暗闇、困り果てた八百万の神々は、天安河原に集まって相談した結果岩屋の前で宴会を開き、アメノウズメノミコトに賑やかに舞踊って貰うことになった。その騒ぎにアマテラスが何事かと岩戸を少し開いた所をタジカラオノミコトが岩戸を投げ飛ばし世の中に光が戻ったというお話です。ちなみに投げ飛ばされた岩は伊勢の山田が原と信濃の戸隠へ跳んでいったと言い伝わっています。

(つづく)



(高千穂神社神楽保存館)

# 「東海・関西積友会ゴルフ」

日時：2011年 9月 17日(土) 場所：阿山カンツリー倶楽部



順位	競技者名	NET
優勝	青山 幸夫	73.2
準優勝	道家 保義	74.2
3位	三角 耕蔵	74.2
4位	佐田元敏和	74.4
5位	桑名 利男	74.6
6位	宮川 明夫	77.0
7位	大田 耕二	78.2
8位	更谷 優	78.8
9位	北村 武司	79.6
10位	山田 修司	80.2
11位	藤田 貴司	81.2
12位	宮崎 敬文	82.0
13位	佐藤 佳久	82.4
14位	玉田 大陸	83.8
15位	高熊 満	84.4
16位	青木 信一	86.0
17位	碓谷 智彦	86.4
18位	三谷 崇	88.6
19位	碓谷 将紀	96.0





## インターンシップを終えて

富山県立富山工業高等学校

山本 健太

インターンシップを終えて、積算という仕事について知りました。僕は、建具の数や寸法をパソコンに打ち込みました。建具の種類を分けて通し番号を付けました。同じ種類の建具でも数が多く、数え間違えのないように気をつけて仕事をしました。この仕事をしている時に、宮西さんに報告書の書き方も教わり、とても参考になりました。コンクリートブロック壁の面積と基礎の面積をパソコンに打ち込む仕事をしました。こちらの仕事では、篠田さんに面積の求め方を教わりました。基礎の求め方は、高校でもやるかもしれないので覚えておきたいと思いました。このインターンシップで、建築の仕事には設計や積算などたくさんの仕事があるということが分かり、就職する際に色々な見方ができることが分かりました。三日間、短い間でしたが色々教えて頂きありがとうございました。

荒井 南美

インターンシップを終えて、仕事の大変さや終わった時の嬉しさが分かりました。明峰積算事務所では、本格的な仕事をさせていただきました。私は、建具を色分けしながら調べて、エクセルに建具の寸法や数を入力しました。色分けするには、分かりやすくする為と自分の好きな色を塗って仕事を楽しくて欲しいという意味があると宮西さんに教えていただきました。その他に仕事をする上での工夫や気配りをたくさん教えていただき、周りのことを考えておられるなど感じました。質疑書を作るときは、わかりやすく丁寧な文にすることが難しかったです。見積書は、終わったところから印を付けると入力ミスが無くなると教えていただきました。何人かで協力をして作業をするので、誰が何をしているのかを分かっていないといけないなと思いました。職場の方とのコミュニケーションや協力する大切さ、集中力、責任の重大さなどたくさんを学びました。

宮田 美里

私は三日間、明峰事務所さんへ訪問しました。作業内容は実際の社員の方と同じ仕事でした。与えられた作業を指示通りきちんとこなす事は難しく理解するのも大変で、特にエクセルを使って柱の寸法を入力して表計算するのが大変でした。しかし、社員の方が自分の仕事でお忙しいにもかかわらず丁寧にやさしく教えていただいたことで作業を進めることができました。ありがとうございました。そして宮西さんがかけて下さった「継続すること」という言葉が一番心に響きました。社員の方は建築の知識をたくさん持っておられスムーズに作業をされていました。それは今までこつこつと学習をして身に付けられた物だと思います。だから日々の学習は本当に大事だということを考えさせられました。今回の体験を通して学んだことを財産にして将来に活かして生きたいと思います。お忙しい中、本当にありがとうございました。

# 忘 年 会

## 広 報 委 員 会

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月16日(金)当協会東海北陸支部に程近い中区栄「いろはにほへと栄店」において、平成23年度忘年会が行われました。

当日はこの冬一番の寒さということで、強い北風に乗って初雪の舞う、とても寒い一日でしたが、30名の皆様に参加いただきました。

川辺副支部長の司会で幕が開き「今年はいろいろなことが起きたたいへんな年でしたが、会員の皆様1年間ほんとうにご苦労様でした。」との小野支部長の労いの挨拶をいただき、植田データベース委員長の乾杯の音頭により忘年会が始まりました。

当日キャンセルされた方もあって昨年より11名少なく、女性の参加もありませんでした。更には、東日本大震災への思いから少々寂しい宴会になるのかと心配しましたが、美味しいお酒も入り、熱々の鍋を囲む頃にはいつのまにか席も入れ替わり、あちらこちらで会話がはずんで、大いに盛り上がっていました。



歓談中

毎年恒例の抽選会では、いつもと違い小野支部長自ら全員のくじを引き、豪華景品?が当たるたびに歓声上がり、これまた盛り上がっていました。外れた人は残念賞。



抽選会

宴たけなわでしたが、剛谷副支部長の中締めで約2時間の楽しかった忘年会もお開きです。



中締め

この夜ばかりは、皆さん暫しの息抜きを楽しむことができたのではなかったでしょうか。当然のことながら皆さん風花のように季節風に乗って、夜の栄に舞っていきました!

最後に皆様には、昨年1年間のご協力に心より感謝申し上げますとともに、本年も何卒よろしく願いいたします。

## 北陸部会だより

(有)高島建築積算事務所

高島 義昭

平成 23 年度北陸部会の活動より  
 7月 1日、8日(金) 富山地区での積算講習会  
 7月 23日(土) 石川地区第一回会員交流会  
 8月 6日(土) 北陸部会役員会  
 10月 15日(土) 石川地区第二回会員交流会  
 10月 20日～末 北陸地区企業訪問  
 11月 26日(土) 建築積算士更新講習会(76名)  
 (社)日本建築積算協会東海北陸支部  
 11月 26日(土) 会員交流会

北陸地区での活動も年々活発になり会員相互の交流も頻繁に行なわれるようになり、少しずつではありますが、確実に積算という根をはってきたように思います。

11月 26日(土) 建築積算士更新講習会終了後、金沢駅西アパホテル和食割烹彩旬での会員交流会(飲み会?)には 23名の参加があり盛大に行われました。

名古屋より佐野副支部長、藤井副支部長、他3名、北陸地区より 18名の参加をいただき、会員相互の交流も盛んに行なわれ大変盛り上がった会となり有意義な時間が過ごせました。

今後も北陸地区での交流を盛んにして地域でのつながりを大切にして、積算の普及に努めたいと思います。また、北陸地区で積算に興味のある方は事務局の方へどしどし連絡ください。



交流会

## 岐阜部会だより

生田一級建築設計室

生田 孝文

平成 23 年 11 月 18 日(金)の午後 6 時 00 分より、3 時間の予定で、岐阜県県民ふれあい会館(406 会議室) 岐阜市藪田南 5-14-53 にて岐阜部会の勉強会兼、積算基準の解説(平成 23 年度版)を開催しました。

20 名定員で設計事務所、建設会社を対象に 10 名の参加がありました。新規の項目、建築工事標準仕様書 JASS 5 鉄筋コンクリート工事の改定に伴い見直し、改正点を中心に説明を行いました。五年振りの 23 年度版 9 月発行ですがチェック項目などの多さの為等により、取り組みが遅くなり呼び掛け期間が短かった性も有り懸念して居りましたが、皆さん熱心に受講して頂きました。

質問の中には訂正項目が多く、正誤表が出ないのですかとも聞かれました。

本年度の事業計画は下記の通りでした。

平成23年4月20日(水)部会総会 PM6:30より  
 6月14日(火) 勉強会 AM10:00より  
 8月28日(土) 研修旅行 1泊2日  
 8月29日(日) 研修旅行 台風中止  
 10月27日(木) 運営委員会PM6:30より  
 12月14日(水) 忘年会 PM6:30より  
 平成24年1月20日(金) 委員会 PM6:30より  
 3月14日(水) 反省会及び20年度予定

岐阜部会も会員増強の為頑張っています。

## 静岡部会だより (会員交流会)

(株)アイピーエス

吉開 慎也

昨年(2011)年11月12日、平成23年度積算士更新講習会(静岡会場)終了後に、会員交流会に参加してきました。静岡での会員交流会の開催は今回が初めてのため、どれくらいの人が集まるか不安もあるなか、講習会会場の後片付けを終え交流会の会場に向かいました。普段積算協会と一緒に活動しているメンバーも居なく心細い中、会場に着いてみると、参加者は9名とすこし寂しかったですが、その分いろいろな方としゃべるチャンスがあると思いました。

今回は、お酒の席ということで、積算だけではなく普段しゃべらない仕事以外のことも聞けるのではないかと期待し席に着きました。交流会が始まって、お酒も入り、当初の心配など関係なく初めての人とも楽しく過ごすことができました。普段の仕事では事務所内にいる事が多く、社外の人とじっくり話すことがあまりないので、すごく新鮮でした。

積算をしていて、つらい事、うまくいった事、事前の準備やトラブルの対処方法などいろいろな話を聞くことが出来、今後自分にも実践できそうな話がたくさんありました。次回はもっと多くの会員の方に参加していただき、いろいろな話がきけたらな、と思いました。

**パソコンデータをお送り下さい。  
大量にコピーやプリントするなら  
印刷の方がキレイでお得です。**

●目安は500枚以上あれば絶対に印刷の方がお得です。

**自費出版のお手伝い**  
俳句集や詩集、自叙伝、社史、小説や写真集、予算に合わせたご提案をさせていただきます。

**ホームページ作成**  
ホームページ更新されてますか? 簡単更新ホームページや通販サイトの構築ご相談下さい。

**写真撮影承ります**  
デジカメにてカタログ商品撮影、建物撮影、メニュー撮影、スナップ撮影など承ります。

**動画ホームページ編集**  
PR用のDVDやwebムービー、プレゼン資料から結婚式ムービー、サブライズムービー作成など

●営業品目 書籍印刷物・記念誌・会社案内・カタログパンフレットチラシ・ポスター・メニュー・新聞・伝票類・フォーム印刷  
メモ帳・手帳・名刺・封筒・はがき・DM・カード・券プログラム・賞状・案内状・シール・ラベル・しおり  
包装紙・ビニール袋・カレンダー・のし紙・文集製本CDジャケット・手さげ袋・パッケージ・タミー缶・マグネット  
各種紙加工(折り、穴、ミシン、断裁、製本)DTPデータ制作・PDFファイル作成・ホームページ制作  
ビデオ編集・CD、DVD作成・オンデマンドプリント・大判プリントアウト・ラミネート加工...他

あらゆる印刷物のデザインから印刷・製本コンピューター関連サービスまで

PRINTING & COMPUTER SERVICE

**山田印刷所**

**012-012-2992**

TEL.0572-68-2992 FAX.0572-68-7417

URL <http://www.ymdp.jp/> 瑞浪市山田町510番地

# 2012 謹賀新年

## 積算事務所からの御挨拶



日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事  
支部長 小野 徹郎

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル9階  
☎ (052)264-0661 FAX (052)264-0662  
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp  
URL http://bsi-th.052e.com/

# IPS

代表取締役

内田 宏康

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市渡瀬町1000の3 TEL. 053-461-8866 FAX. 053-461-8854  
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL. 03-5694-0636 FAX. 03-5694-2415  
IPS E-mail : ips@inh.co.jp  
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 講習会委員  
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 事務所部会長

住宅金融公庫特定業務  
登録建築士事務所

生田一級建築設計室

設計・積算  
設計室長 生田 孝文

〒501-6232 岐阜県羽島市竹鼻町東町1丁目3240  
TEL (058) 392-0084  
FAX (058) 391-7676



株式会社 浦野設計

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS



代表取締役社長

浦野 廣高  
技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区西八筋町80番地  
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712  
URL http://www.urano-s.co.jp/  
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp  
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12(木蓮ビル5F)  
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9562

再生風設計

建築・積算・見積  
有限会社 エスム積算

(社)日本建築積算協会会員  
建築積算士

代表取締役 松岡 征紀

本社 〒503-0944  
岐阜県大垣市横曽根4丁目13番地  
TEL (0584) 89-2550・FAX (0584) 89-7841  
東京事務所 〒105-0014  
東京都港区芝1丁目13番16号・NBC芝橋ビル4階  
TEL (03) 3452-7164

取締役 大阪名古屋事務所長

小森 直樹  
KOMORI NAOKI



Enishi C.M Office

えにし  
株式会社 縁

名古屋事務所  
〒460-0035 名古屋市中区錦1丁目18番22号  
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063  
携帯 080-3969-0901  
E-mail: komori@enishi-cm.co.jp  
本社:福岡 事業所:福岡・広島・大阪・東京 営業所:大阪



株式会社 えん 建築積算

代表取締役 廣瀬 稔  
MINORU HIROSE

一級建築士・建築積算資格者・宅地建物取引主任者

〒452-0805 名古屋市中区市場木町32  
ITO BLD 2階  
TEL 052(503)0366  
FAX 052(503)0663  
URL http://www.ennsekisan.gol.com

有限会社 川崎建築積算

代表取締役

川崎 外志男

建築積算資格者・一級建築士

〒918-8026  
福井市湊4丁目205 ショッピングプラザFYビル  
TEL (0776) 33-1890  
FAX (0776) 33-1891  
E-mail kawa-to@nifty.com



# 2012 謹賀新年

## 積算事務所からの御挨拶



 **国豊積算株式会社**  
専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル  
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945  
URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>

鉄骨積算事務所

**斉藤賢治**

斉藤 賢治 TEL:0566-85-3217

白木建築積算

**石田豊文**  
Toyofumi Ishida

〒501-3152 岐阜市岩滝西3-72  
TEL:058-213-5879  
FAX:058-213-5878  
E-mail: [sks-toyo@coda.ocn.ne.jp](mailto:sks-toyo@coda.ocn.ne.jp)

有限会社 **高島建築積算事務所**

所長 **高島義昭**  
一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2  
TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340  
携帯電話 090-3293-6920  
E-mail: [takasima@aqua.ocn.ne.jp](mailto:takasima@aqua.ocn.ne.jp)

株式会社 **笠谷建築積算事務所**

代表取締役 会 長 **とよ 砥 谷 智 彦**  
代表取締役 社 長 **とよ 砥 谷 将 紀**

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市中区昭和区広路本町6-11-2  
TEL (052) 859-0686  
FAX (052) 859-0687  
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀45-5  
TEL (0557) 68-5842  
FAX (0557) 68-5844

(社) 全日本不動産協会会員 富山県知事(1)第2807号

**TSC** 富山積算センター

代表取締役 **笠 谷 正**

(社) 日本建築積算協会会員 積算資格者

不動産部

取引主任者 登録番号 005426  
〒933-0838 富山県高岡市北島45番地  
電 話 (0766) 22-3366  
F A X (0766) 22-3388  
携 帯 090-1392-7876  
E-mail: [tsc-tk@dream.ocn.ne.jp](mailto:tsc-tk@dream.ocn.ne.jp)

 株式会社 **中野積算**

名古屋支社

支社長 **位 田 勝 彦**

KATSUHIKO INDEN

建築コスト管理士 社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目29-10 錦通KDtビル  
支 社 TEL 052(856)6961 FAX 052(856)6960  
E-mail: [k-inden@nakano-sekisan.co.jp](mailto:k-inden@nakano-sekisan.co.jp)  
本 社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-13-7 TEL 03(3392)6121  
支 社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 **林積算**

代表取締役 **林 進**

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目25番30号 金馬ビル4階  
TEL 052-262-3781  
FAX 052-262-3783

E-mail: [susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp](mailto:susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp)

# 2012 謹賀新年

## 積算事務所からの御挨拶



建築積算・コストコンサルタント  
Building Surveyor・Cost Consultant

有限会社 **富士積算**  
Fuji Sekisan CO.,LTD

Satoh Yoshihisa  
代表取締役 **佐藤 佳久** 建築積算資格者  
〒460-0014 名古屋市中区富士見町13番22号 ファミール富士見2階  
TEL (052) 322-7051 FAX (052) 322-7052  
URL: <http://home.wondernet.ne.jp/~fuji/>



コストエンジニアリング&コンサルタント

株式会社 **二葉積算**

建築積算士・建築コスト管理士  
常務取締役 西日本地区担当 **西田 彰**  
NISHIDA AKIRA

名古屋支社 支社長 **中川 英人**  
NAKAGAWA HIDETO

名古屋市中区錦2丁目17-30 (河原ビル)  
TEL 052-231-8336 (代表) FAX 052-231-8669  
大阪市西区西本町1-7-20 (サルトビル)  
TEL 06-6531-3088 (代表) FAX 06-6531-3018  
E-mail [nishida@futaba-sekisan.co.jp](mailto:nishida@futaba-sekisan.co.jp)  
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌



取締役 設計積算部 部長

**松平 久芳**

一級建築士  
h\_matsuhira@matsuo-corp.co.jp  
<http://www.matsuo-corp.co.jp/>

1509601 認定取得



株式会社 **松尾工務店**  
〒918-8204 福井市南四ツ居1丁目1-14  
TEL 0776-54-0640 (代) FAX 0776-54-0561



一 建築物のコスト算出

有限会社  
**建築 見積センター**

代表取締役 **長谷川 明宏**  
(建築積算士)

〒514-0811 三重県津市阿漕町津興280-43  
TEL (059) 229-7251  
FAX (059) 229-7252  
<http://www.mitsumori-center.co.jp>  
hasegawa\_akihiro@mitsumori-center.co.jp



株式会社 **みどり建築企画**

(社)日本建築積算協会東海北陸支部  
副支部長・講習教育委員長・HP委員

代表取締役 **藤井 正王**  
FUJII MASAO

名古屋市中区栄一丁目7番25号 サン・ミノビル602  
TEL 052-231-5822 FAX 052-231-5825  
〒460-0008 E-mail: [midorikk@mediacat.ne.jp](mailto:midorikk@mediacat.ne.jp)



株式会社 **棟 MUNE 建築企画**

代表取締役 鳥 居 哲 夫  
取 締 役 和 田 浩 嗣  
取 締 役 中 島 達 司  
取 締 役 服 部 欽 守

本 社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日誠丸の内ビル3階  
TEL : 052-602-9525 (代) FAX : 052-602-9526  
E-mail : [acmunecp@mvs.biglobe.ne.jp](mailto:acmunecp@mvs.biglobe.ne.jp) (代)  
URL : <http://www.mune-kenchiku.co.jp>  
東京出張所 TEL : 03-5833-7481



明峰積算事務所

代 表 宮 西 繁

建築積算士 (管理建築士) 篠 田 奈 々

〒930-0861 富山県富山市有沢新町39  
(姉中事務所) TEL 076-425-7330  
FAX 076-425-7363  
(休日連絡先) TEL/FAX 076-491-9158  
E-mail : [s.miyanisito.yama@nifty.com](mailto:s.miyanisito.yama@nifty.com)



ヤマニシ建積プランニング

代表 山 西 栄 一

〒923-0977 石川県小松市額見町又2番地  
TEL (0761) 44-2844 FAX (0761) 44-1450  
携帯TEL 090-9446-1004  
E-mail [yamayama@tvk.ne.jp](mailto:yamayama@tvk.ne.jp)

# 2012 謹賀新年

## 積算事務所からの御挨拶



### 株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役会長 森口雅文  
代表取締役社長 小田義彦

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)  
TEL 052-222-8611 FAX 052-222-1971  
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)  
TEL 03-5294-6211 FAX 03-5294-6219  
<http://www.ito-aei.co.jp>

建築積算システム

**FKS**

見積書作成システム

KYOEI  
**COMPASS**

リニューアル用積算ソフト

**RSS**

長期修繕計画表作成ソフト

**KLC**

協栄産業株式会社 ソリューション営業部  
〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル  
【TEL】03-3767-2312 【FAX】03-3767-2318  
【E-mail】fks@kyoei.co.jp 【URL】<http://www.kyoei.co.jp/fks>



代表取締役

末永治生

#### 株式会社 末永製作所

〒501-0606 岐阜県揖斐郡揖斐川町房島1822-3  
TEL.0585(22)0778(代)  
TEL.0585(22)5451(直)  
FAX.0585(22)2108



TOMOデータサービス株式会社

代表取締役

今岡朝和

本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル  
TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925  
E-mail: imaoka@tomodata.co.jp  
<http://www.tomodata.co.jp>  
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル  
TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081



### 株式会社大成出版社

●グループ会社  
株式会社 信WSEI

代表取締役社長  
松林久行

謹賀新年

本イメージで、さらに見やすく

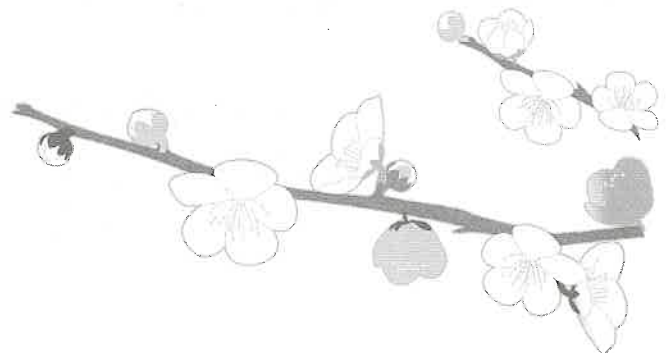
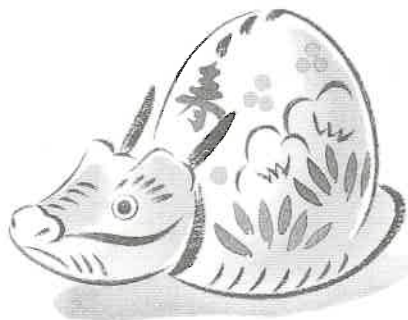
## Web建設物価 Ver.4

<http://www.web-ken.jp/>

- 《もっと多くの価格情報が知りたい!》
- 《過去の価格情報も確認したい!》
- 《価格情報だけでなく資材の解説や写真も見たい!》

財団法人 建設物価調査会

Tel.03-3663-5170 Fax.03-3663-5171



平成24年1月

## 会員各位

社) 日本建築積算協会東海北陸支部

会員委員長 佐野 洋治

# ナゴヤドームへ野球観戦にいこう

“新年明けましておめでとうございます”新しい年の始まりとともに全てが活発に動き出す今日この頃です。

さて、本年もナゴヤドーム・ライト側外野指定席を会員の皆様にご提供いたします。

ご希望の試合日を下記要領にしたがい記入して支部事務局まで、FAX 又は E-mail でお申込みください。ただし、会員（平成24年4月1日現在）に限ります。

会員一人一試合のみ(2席分)とし、複数申し込みをされた場合は無効とします。

なお、平成24年度公式戦応募日程は3月上旬に東海北陸支部ホームページの会員サービスに掲載します。(http://bsi-th.052e.com/)

### —記—

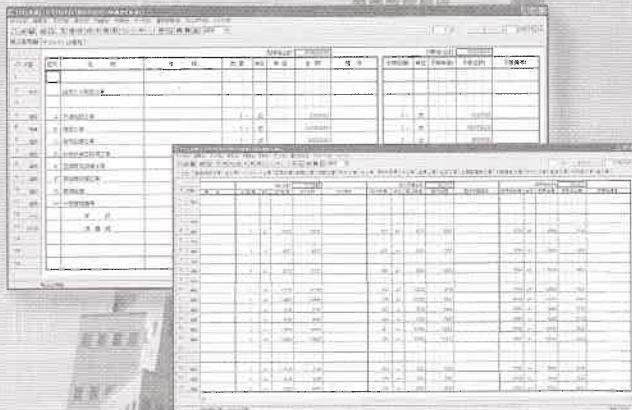
1. 受付開始 3月上旬
2. 締切日 ホームページに掲載します。
3. 日 程 ホームページに掲載します。  
◇ ご応募者が多数の場合は抽選とし、発表はチケットの発送をもって発表にかえさせていただきます。
4. 申込先 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3番26号  
昭和ビル2階  
(社)日本建築積算協会 東海北陸支部事務局 宛  
電話(052)264-0661 FAX(052)264-0662  
メールアドレス: toukaihokuriku@bsij.or.jp

積算業務の効率化に貢献する

# TDS Application Series

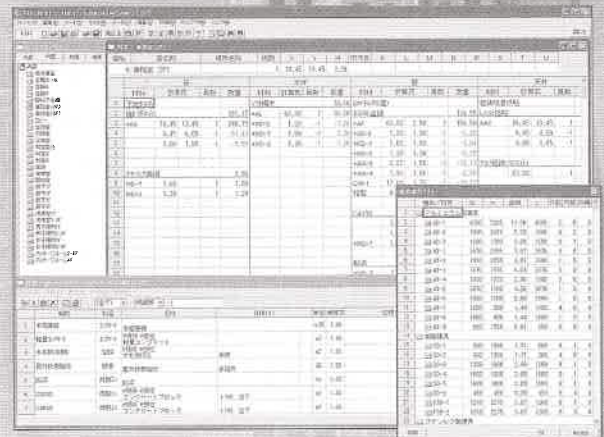
出荷本数8000本の実績!明細書作成の超決定版!

Exa  
TDS [見積]



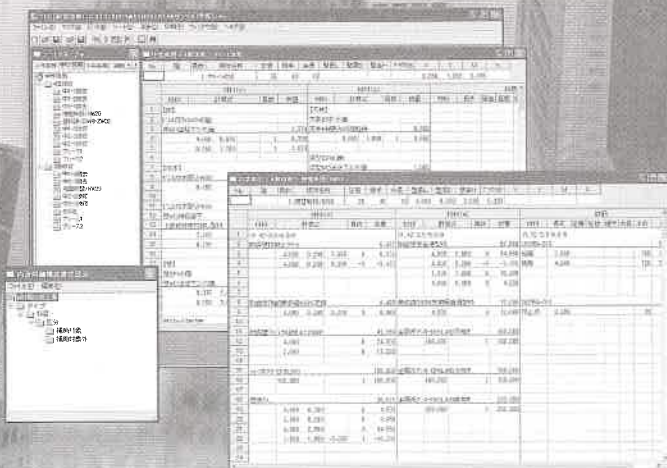
超簡単仕上扱い

TDS [仕上]



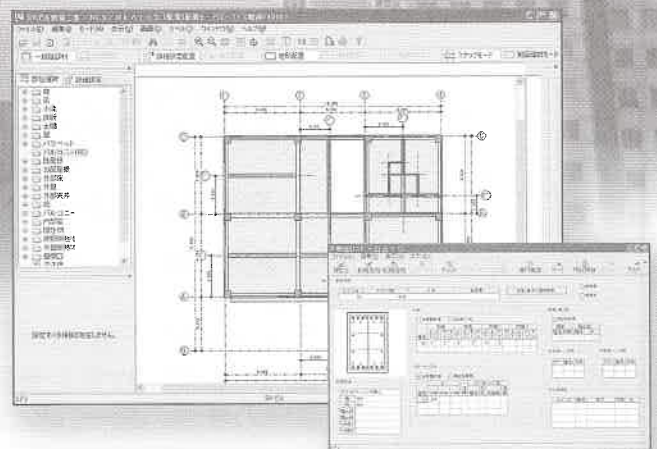
業界初!改修専用の積算システム!

TDS [改修]



どんな建物にも対応

NCS / HEALIOS



※NCS/HEALIOS は横日積サーベイス社の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail [info@tomodata.co.jp](mailto:info@tomodata.co.jp)

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL (06) 6351-8452 FAX (06) 6351-8925  
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL (03) 5816-7080 FAX (03) 5816-7081

# ●平成23年基準 公共建築工事積算基準の解説●

(建築工事編) (設備工事編)

各定価9,700円(本体9,238円)

平成23年基準  
公共建築工事  
積算基準の解説

建築工事編  
監修  
国土交通省大臣官房官庁営繕部  
編集・発行  
財団法人建築コスト管理システム研究所  
RCC Research Institute on Building Cost

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部  
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

公共建築工事共通費積算基準の改訂について解説し、それに伴う共通仮設費・現場管理費の算定方法の見直しを計算例付で解説!  
市場単価の適用工種の追加、建設機械等損料表の改訂に伴う歩掛り等の改正についても解説した最新版!

平成23年基準  
公共建築工事  
積算基準の解説

設備工事編  
監修  
国土交通省大臣官房官庁営繕部  
編集・発行  
財団法人建築コスト管理システム研究所  
RCC Research Institute on Building Cost

# ●平成23年版 公共建築工事積算基準●

定価8,700円(本体8,286円)

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部  
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

共通費積算基準・標準単価積算基準の改正  
参考歩掛りの改正並びに最新通達を収録

今回は、「公共建築工事共通費積算基準」において、建築工事、電気設備工事及び機械設備工事における共通仮設費及び現場管理費の算定方法の見直しが約10年ぶりにされ、共通仮設費及び現場管理費の算定式の変数として従来の工事規模(直接工事費、純工事費)の他に「工期」を追加し、工期に応じた共通仮設費率及び現場管理費率の算定ができるよう改定されています。

「公共建築工事標準単価積算基準」では市場単価への移行の適用工種に「防水入隅処理」が追加されています。また、建設機械等損料算定表の改定に伴い、「建築工事」における「舗装機械運転」の歩掛り、「機械設備工事」における「土工機械運転」の歩掛り等の改定がなされています。



# ●平成23年版 建築数量積算基準・同解説●

定価4,200円(本体4,000円)

制定/建築工事建築数量積算研究会  
編集/(財)建築コスト管理システム研究所/  
(社)日本建築積算協会  
発行/(財)建築コスト管理システム研究所

本書は、建築工事の積算業務に携わる方々に活用され、建築工事の公式な契約の基盤となる必携の書です。

今回の改訂は、改定された「JASS5」と整合性を図り、「鉄筋の定着、重ね継手の長さ及び鉄筋径の倍数表」や「鉄筋の投影定着長さ」などを見直し、日常、積算関係者から寄せられたご意見等を参考に解説部分の表現の統一、図表等の修正などを加えた最新版です。



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888  
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

## うだつの上がる町並み（美濃市）



今井家



小坂酒造場

## 編集後記

表紙は、岐阜県の郡上八幡城です。現存する天守閣は昭和8年（1933）に木造で再建されたということですが、とてもきれいなお城です。

上の写真は郡上八幡に向かう途中に寄り道した、美濃市のうだつの上がる町並みです。

さて本年は辰年。データベースの植田委員長が、「データベース委員会だより」で干支の辰にまつわる言葉をいくつか紹介してくださいました。

辰（竜・龍）だけに、力強く勢いのあるものが多いようです。草木が盛んに生長するように、竜が天に昇り飛びまわるように、活気あふれる飛躍の年になってほしいものです。

積算士補を取られたお二人の大学生の皆さん、インターンシップに参加された三名の高校生の皆さんの記事を読んで、彼らのように積算に興味を持ってくれる学生が一人でも多くなってくれたらどれだけすばらしいことかと感じました。

また、女性スタッフのお二人は、まじめに一所懸命仕事に取り組んでいる姿が目につかぶようです。ユニークな記事で支部報に花を添えてくれてありがとうございました。

それでは、本年も本誌のご愛読よろしくお願いたします。

広報委員	堀田 淳二	松本 利治
	西田 彰	桑名 利男
	長山 充裕	松岡 征紀
	松平 久芳	

支部報 『東海北陸』 No.56

発行 社団法人日本建築積算協会  
東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26  
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://bsi-th.052e.com/>

発行日 2012年2月 吉日

# 進化し続ける 建築積算・見積システム

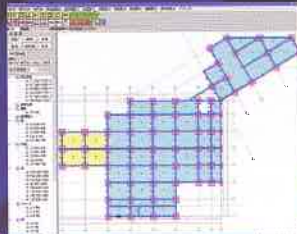
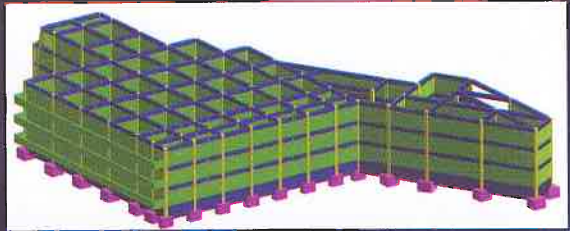
## FKS RC

### RC数量積算システム

視覚的な拾いチェックができる伏図入力

- 計算根拠書を同時提供、公共工事でも豊富な実績
- 作成した伏図を自動で3次元へ展開、立体図を見ながら各部材の編集が可能
- 伏図配置はワンクリックで簡単配置、偏芯情報は自動補正の機能を搭載
- 公共建築工事標準仕様書（平成22年度版新基準）にも対応
- セットバック（斜め柱）や壁式構造にも対応
- 軸組図表示により建具や増打、スリットなどを視覚的に確認、編集が可能
- 土工事は、総掘、重掘、地下空間体積も自動で積算
- ボイド、機械式継手、定着プレート、カットオフなど最新工法へ対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込（オプション）

3Dモード



伏図入力



根切図

## FKS FN

### 仕上数量積算システム

部屋形状自動作図と図面データ取込機能で、積算時間を大幅削減

- 部屋形状作図機能により、実際の部屋に近い形状を表示
- 自動演算と自由な計算式の組み合わせにより汎用性のある入力画面
- ユーザーごとの自由な計算式登録が可能で自動演算式のパターン化を実現
- 図面データをマウスでポイント指定するだけで数量を自動計算（オプション）
- 仕上一覧表機能で、部屋拾い作業での材料登録の手間を大幅に省力化
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動減算
- タイプ別、区分別など一つの拾いデータからニーズに合致した集計が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート



仕上拾い画面

部屋形状設定画面

## KYOEI

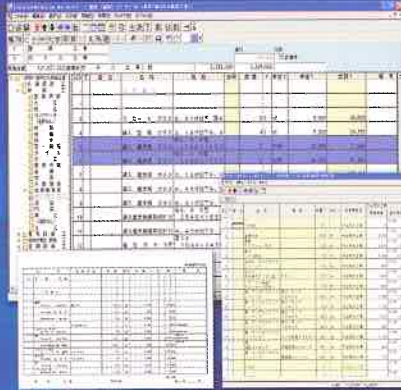
# COMPASS

### 見積書作成システム

最大16階層で大規模物件に対応、下見積機能も標準で搭載

- 最大16階層、明細は各工事科目で3,000行まで入力が可能
- 最大5社まで見積比較が可能な下見積（見積比較）機能を標準で搭載
- ExcelからCOMPASSへ直接コピー・貼付けが可能
- 付箋機能により、目印を付けた行をまとめて検索・参照・編集
- 名称・規格情報が同じ明細を文字検索し明細単価の統一が可能
- 単価マスター自動セット指示で値入作業の省力化を実現
- 数量、単価、総額固定などの各種シミュレーション機能によりコスト調整を容易に実現
- Excelとの入出力機能やRIBCから出力したデータの取込など豊富なデータ互換
- 見積書式の行数や表現、見積書の書式位置はユーザーごとに設定が可能

明細編集画面



提出用見積帳票サンプル

業者見積比較画面

## 建築業務をトータルサポートする協栄産業の建築コストアプリケーション

実行予算書作成システム **COMPASS実行予算**

積算実績比較システム **FKS SJ**

RIBCデータ  
連携システム **RIBC Link**

データインジ  
ン入力システム **K/FIT**

積算といえば協栄産業におまかせください!

<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インター  
ネット

積算 FKS

検索

クリック!

「積算FKS」と検索してください



エレクトロニクス分野を通して  
夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

**協栄産業株式会社**



ISO9001 A12953  
ISO14001 A11591  
ISO27001 A17174

ソリューション営業部

Email [fks@kyoei.co.jp](mailto:fks@kyoei.co.jp)

URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル  
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング  
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

【会社名】 協栄産業株式会社 (Kyoei Sangyo co.,Ltd.)

【本社所在地】 〒150-8585 東京都渋谷区松涛2-20-4

【創立年月日】 1947 (昭和22)年10月6日

【資本金】 31億6,181万円 (2011年3月31日 現在)

【総従業員数】 1,266名 (協栄産業グループ合計/2011年3月31日 現在)

【株式上場】 東京証券取引所 市場第一部「商業」

【関連団体】 社団法人 日本建築積算協会賛助会員

一般社団法人 日本建築積算事務所協会賛助会員

社団法人 日本建築士事務所協会連合会賛助会員

財団法人 建設業振興基金 情報化評議委員会 (CI-NET会員)